

上巻(1年)

「たのしい せいかつ 上 なかよし」指導計画作成資料

令和2年度（2020年度用） 小学校生活科

本資料は、休校措置にともなって学校の授業時間が十分に確保できない現状を踏まえ、令和2年度版教科書「たのしい せいかつ 上・なかよし」「新版 たのしい せいかつ 下・はっけん」について、学校の授業以外で取り組む学習、および感染症対策の観点から指導順序の変更を検討することが考えられる学習を年間の指導計画に示したものです。

本資料では、以下の考え方をもとに、指導計画を作成しています。

- ・授業は1単位時間45分で行われることを前提としています。
- ・具体的な活動や体験を通して学ぶ生活科の教科特性や、低学年という発達段階、家庭環境の多様さを踏まえると、生活科の学習はできるだけ学校で行うことが望ましいと考えます。
- ・学校の授業以外で取り組む活動については、活動の導入、投げかけは学校で行ったうえで、その後家庭で家族の協力のもと進めることが可能と考えられる活動を想定しています。
- ・感染症対策の観点から指導順序の変更を検討することが考えられる活動については、主に
 - ①異学年や園児との交流など、多くの児童が密集し、近距離での接触が考えられる活動
 - ②家族や地域の方を招いて、児童が活動の成果を発表するなど、多くの人が密集することが考えられる活動
 - ③校外へ出かけ、商店や施設を訪れ、地域の方との交流を行うことを想定した活動と考えています。

上記の内容にあたる活動を抽出し、その配当時間を示していますが、これら活動は、単独で成り立つものではなく、前後の活動と密接に関連しているため、活動時期の変更が難しい場合も考えられます。そのため、指導順序をずらす以外にも、感染症対策をとったうえで行うための方策についても記しています。

本資料はあくまで1つの例として示しています。各地域・学校の実情に合わせて、学校の授業以外の活動を増減していただく、指導時期はずらさず十分に感染症対策を行ったうえで活動を実施していただく等弾力的にご活用ください。

上巻(1年)

大日本図書「たのしい せいかつ 上・なかよし」(生活103)

授業内87.5時間+授業外14.5時間

指導順序の変更が必要となる活動4時間

大単元:みんな なかよし (指導時期 4～6月・25時間) →授業内25時間(指導順序の変更が必要となる活動1時間)

大単元の主なねらい

◎学校探検や通学路での活動を通して、学校の施設やその生活を支えている人について考えることができ、学校生活には様々な人がかかわっていることが分かり、楽しく安全に学校生活を送ろうとする。

◎栽培活動を通して、植物の成長に関心をもって働きかけることができ、植物は生命をもっていることに気づき、親しみをもち大切にしようとする。

◎公園での活動を通して、身近な公園のよさや働きを捉えることができ、みんなで使うものやそれを支えている人がいることに気づき、大切に正しく利用しようとする。

小単元名	配当時間 (そのうち授業 が必要な 時間)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)
ともだちと なかよし (p.4～7)	4 (4)	◎自己紹介や集団ゲーム、歌などを通し、新しい友達と遊んだり、上級生や学校で働く人たちに世話をしてもらったりすることを通して、学校にかかわる人たちに親しみをもつ。		p.6～7 「おにいさん おねえさんと なかよし」における ○歓迎会等で上級生と交流する(1.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、対面での活動ではなく、動画に撮った歓迎のことば等を見て、上級生があたたかく迎えてくれていることを知らせることなども考えられる。
がっこうと なかよし (p.8～15)	8 (8)	◎学校内を自由に回り、興味のあるものやそこにいる人々と触れ合うことを通して、学校の様子や学校生活を支えるいろいろな人の存在に気付く。 ◎見つけたことを絵に描いたり、友達に伝えたりする。		
いきものと なかよし(p.16～17)	1 (1)	◎校庭や校舎の施設、生き物にも関心をもち、楽しくかかわる。		
さいばい:はなや やさいと なかよし① (p.18～23)	6 (6)	◎育ててみたい植物を選んだり、土作り、たねまきの仕方、苗植えのやり方、育て方を調べたりして準備をする。 ◎水やり、支柱立てなどの世話を通して植物の成長に気づき、これからの成長に関心をもつ。		
がっこうにくる みち かえる みち(p.24～29)	6 (6)	◎行き帰りの通学路の様子に関心をもつとともに、安全に気を付けて歩き、また自分達の安全を守ってくれている施設や人がいることに気付く。 ◎身近な公園などを利用し、自然に触れたりしながら、友達と仲よく遊ぶ。 ◎公園を利用しているいろいろな人の存在に気づき、施設の使い方やルールを守って大切に利用する。		

大単元:なつとなかよし（指導時期 6～7月・11時間） →授業内10時間+授業外1時間
大単元の主なねらい

◎栽培活動を通して、植物の成長に関心をもって働きかけることができ、植物が成長していることに気づき、最後まで大切に世話をしようとする。
 ◎夏の自然を使った遊びを通して、自然や自分たちの生活の様子について考えることができ、遊びの面白さや不思議さに気づき、みんなで楽しみながら遊びを創り出し、生活を楽しくしようとする。

小単元名	配当時数 (そのうち授業が必要な 時数)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時数)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時数)
さいばい:はなや やさいと なかよし② (p.32～37)	6 (6)	◎アサガオやフウセンカズラなどの草花につぼみができ、開花や実を付けたことに喜び、花の美しさへの感動などを観察カードに絵や文で表現する。 ◎ラッカセイ、ダイズなどの野菜につぼみができ、開花して、実になっていくことに気付く。 ◎植えた草花の成長、野菜の収穫への意欲を高め、継続して世話をする。 ◎育てた花や実や、身近な花や実を使って、色水遊びや、押し花、たたき染め遊びをする。		
おもしろい あそびが いっぱい (p.38～41)	3 (3)	◎シャボン玉遊び、水遊び、砂遊びなど、友達と仲よく遊ぶ。 ◎身近な季節の遊びを通して、自分たちの生活を工夫して楽しむ。		
なつは たのしい ことが いっぱい (p.42～43)	2 (1)	◎初めての夏休みを迎えることを、みんなで話し合う。 ◎家族と一緒に出かけたり、遊んだり、手伝いをしたりするなど、楽しいひとときを考え、家族とのきずなを深める。 ◎地域の行事を通して、地域の人々と触れ合う。	p.42～43 「たのしみだね、かぞくと すごす なつやすみ」内の以下の活動 ○どんなことをして夏休みを過ごしたか考え、絵や文で表す(1.0) ※学校で、これまでの夏休みの思い出を出し合ったりしたうえで、具体的にやりたいことを考え、カードに表す活動は、家族と共に家庭で行うことが考えられる。	

大単元:あきと なかよし (指導時期 9～11月・34時間) →授業内28.5時間(指導順序の変更が必要となる活動2時間)+授業外5.5時間

大単元の主なねらい				
<p>◎見つけた虫を飼うことを通して、生き物に親しみをもつことができ、それらが生命をもっていることに気付き、大切に世話をしようとする。</p> <p>◎秋の自然や町とかかわる活動を通して、秋の特徴を見つけたり、自然を使って工夫して作品作りをすることができ、自然の変化に気付き、それらを取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとする。</p> <p>◎植物のたねとりや秋植えの活動を通して、植物の成長に関心をもって働きかけることができ、植物への親しみをもち、これからも大切にしようとする。</p>				
小単元名	配当時間 (そのうち授業が必要な時間)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動(概要、配当時間)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動(概要、配当時間)
いきものと なかよし(p.46～53)	9 (7.5)	◎友達が見つけた虫をきっかけに、知っている虫や見つけた場所について話し合い、虫を探しに行く。 ◎見つけた虫のすみかを作って飼い、様子を観察し、わかったことを伝え合う。 ◎学校で飼っている動物の最近の様子について話し合い、心配なことを専門家に相談したり、大切に育てるための飼い方を教えてもらったりする。	p.50～51 「むしの ふしぎを みつけたよ」内の以下の活動 ○虫めがねを使って体の様子を調べる ○虫の動き方を調べる ○調べたことをカードに書く(1.5) ※観察の際、写真や動画を撮るなどICT機器も活用し、それをもとにカードにまとめ、書く活動は家庭で行うことが考えられる。	
さいばい:はなや やさいと なかよし③(p.54～59)	7 (6)	◎秋になって育ててきた草花のたねとりをし、たねの形や色などについて観察カードに絵や文で表現する。 ◎土の中にできているサツマイモ、ラッカセイを収穫し、自然の不思議さを体感する。 ◎とれたたねを入れて保存しておく袋を作り、来年4月の新1年生へのプレゼントとして準備する。 ◎収穫した野菜の食べ方を話し合い、調理をしてみようなどして食べる。 ◎冬越しの植物について、たねをまいたり、苗や球根を植えるなどして、植物をさらに育てていく意欲を高める。	p.54～55 「たねが とれたよ」内の以下の活動 ○採ったたねをプレゼントする準備をする(1.0) ※採ったたねについての話し合いは学校で行ったうえで、実際に来年4月の新1年生にプレゼントする袋を作る活動は、家庭で行うことが考えられる。	
あきと あそぼう(p.60～71)	12 (10)	◎身近な場所で見つけた秋について紹介し、公園に行くとどんな秋が見つけられそうか話し合う。 ◎秋の公園で諸感覚を使って秋を感じたり、比べたり、言葉で表現したりしながら秋と親しむ。 ◎公園で落ち葉や木の実、草花などを使って工夫して遊ぶ。 ◎公園で集めてきた、落ち葉や木の実などを使って、いろいろなものを工夫して作り、どうしたらうまく作ることができるかを友達と教え合う。	p.68～71 「じょうずに できたよ」内の以下の活動 ○集めてきた、落ち葉や木の実などを使って、いろいろなものを工夫して作る(2.0) ※学校で作りたいものについて話し合ったうえで、実際に作る活動は家庭で行うことが考えられる。	
おいでよ あきの テーマパーク(p.72～73)	6 (5)	◎幼稚園や保育所の子を招待し、一緒に秋の遊びをする計画を立てる。 ◎どんなことに気を付けたらよいかを話し合い準備を進める。 ◎「あきのテーマパーク」に招待し、作ったものを使って一緒に秋の遊びをする。	p.88～89 「おしえて あげるね、たのしい あき」内の以下の活動 ○招待の計画をもとに、テーマパークの準備をする(1.0) ※学校で計画を話し合ったうえで、一部の準備は家庭で行うことが考えられる。	p.72～73 「おしえて あげるね、たのしい あき」における ○園児を招待して、一緒に遊ぶ(2.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、作った作品を幼稚園や保育所に届け、後日感想を聞くといった活動も考えられる。

大単元:ふゆとなかよし (指導時期 12~3月 32時間) →授業内24時間(指導順序の変更が必要となる活動1時間)+授業外8時間

大単元の主なねらい				
<p>◎冬の自然や町とかかわる活動を通して、冬の特徴を見つけたり、それらを利用した遊びを考えることができ、季節の変化や行事に気付き、それらを取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとする。</p> <p>◎家庭生活について調べる活動を通して、家族の役割や自分でできることについて考えることができ、家族は互いに支え合っていることに気付き、自分の役割を果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする。</p> <p>◎1年間の学校生活を振り返る活動を通して、自分が成長したところを見つけることができ、できるようになったことや役割が増えたことが分かり、自分に自信をもって進級を楽しみにしようとする。</p>				
小単元名	配当時間 (そのうち授業が必要な時間)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)
ふゆとあそぼう (p.76~89)	15 (13)	<p>◎校庭や通学路、町の中など身近な自然や暮らしの中から冬を探し、冬の季節感を捉える。</p> <p>◎地域のお年寄りや大人から昔の遊びを教えてもらう活動を通して、昔遊びの楽しさや面白さを知り、友達や家族と一緒に遊ぶ。</p> <p>◎風車やたこ、風輪や紙飛行機など風で動くおもちゃを作り、楽しく遊ぶ。</p> <p>◎北風、雪、氷、日ざしなど冬の自然状況を生かした屋外での遊びを工夫して、友達と楽しく遊ぶ。</p> <p>◎校庭でいろいろな形の影を作って遊ぶなど、影を使った遊びをする。</p>	<p>p.80~81 「いろいろあるね 日本の あそび」内の以下の活動 ○地域の方(家族)に昔の遊びを教えてもらいながら一緒に遊ぶ(2.0)</p> <p>※学校で、自分が遊びたい昔遊びを決めたうえで、その上達のための活動を、家族に教えてもらいながら家庭で行うことが考えられる。</p>	
かぞくは なかよし (p.90~95)	6 (3)	<p>◎冬休みに家族で過ごしたことを振り返り、家族の笑顔キーワードに、そのあたたかさやよさに気付き、自分にできることについても考える。</p>	<p>p.90~91 「いっしょだと ほっとするね」内の以下の活動 ○家族が笑顔になるときはどんなときなのかを考える(1.0)</p> <p>p.92~93 「かぞくを えがおに する ほかほか大きくせん」内の以下の活動 ○家族を笑顔にする作戦を考える(1.0)</p> <p>p.94~95 「ほかほかがいっぱいだね」内の以下の活動 ○作戦後のこれからを考える(1.0)</p> <p>※家族の笑顔を探す、笑顔にするための作戦を立てる活動は家庭で行うことが考えられる。また、作戦後に家庭のなかでの自分の役割を、家族と共に考える。</p>	
もうすぐ2年生 (p.96~101)	9 (7)	<p>◎自分の1年間を振り返り、楽しかったことやできるようになったことを発表し合う。</p> <p>◎新1年生のために、自分たちができることややってあげたいことを話し合い、プレゼントなどの準備をする。</p> <p>◎新1年生に学校内を案内したり、教室をきれいにしたりして、新1年生を迎える準備をするとともに、1年間かかわった人たちに感謝の気持ちをもつ。</p>	<p>p.100~101 「ようこそ あたらしい1年生」内の以下の活動 ○新1年生へのプレゼントなどの準備をする(2.0)</p> <p>※学校で自分たちができること、やってあげたいことを話し合ったうえで、プレゼントなどの準備は家庭で行うことが考えられる。</p>	<p>p.100~101 「ようこそ あたらしい1年生」における ○園児(新入学児)を迎える会をする(1.0) 活動については、活動時期の検討が必要</p> <p>※別時期に行う、もしくは、実際に学校に招くのではなく、学校を紹介した動画を撮影し、それを幼稚園や保育所に送る、という活動も考えられる。</p>
はるをさがそう (p.102~103)	2 (1)	<p>◎校庭など身近な場所で、木や草、生き物の様子を調べ、春の訪れが感じられることに気付く。</p>	<p>p.102~103 「はるを見つけたよ」内の以下の活動 ○身近な場所で、木や草、生き物の様子を調べるなど春みつけをする(1.0)</p> <p>※校庭に限らず、身近な場所で家族と共に春みつけの活動を行うことが考えられる。</p>	